



# 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月3日

上場会社名 豊田通商株式会社

上場取引所 東名

コード番号 8015 URL <http://www.toyota-tsusho.com/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 加留部 淳

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 内山 和浩

TEL 052-584-5482

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	5,704,061	21.2	119,477	47.3	123,811	31.3	57,580	△1.6
25年3月期第3四半期	4,706,749	9.9	81,113	27.1	94,323	10.6	58,495	21.3

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 203,923百万円 (138.5%) 25年3月期第3四半期 85,496百万円 (691.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	164.02	163.85
25年3月期第3四半期	167.13	167.02

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	3,962,517	1,098,401	23.2
25年3月期	3,592,368	920,043	21.2

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 920,873百万円 25年3月期 760,175百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	22.00	—	22.00	44.00
26年3月期	—	23.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,600,000	20.6	158,000	36.4	169,000	35.4	72,000	6.8	205.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、[添付資料]3ページ「2. (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	354,056,516 株	25年3月期	354,056,516 株
26年3月期3Q	2,821,523 株	25年3月期	3,268,023 株
26年3月期3Q	351,056,048 株	25年3月期3Q	350,006,063 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きが実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想の適切な利用に関する説明)

本資料に記載されている業績予想等の将来の記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、業績予想に関する事項は、[添付資料]3ページ「1. (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の経済環境を概観しますと、先進国が堅調に推移したものの、新興国では成長の鈍化が見られ、全体として緩やかな回復傾向となりました。米国経済では、シェールガスに代表される技術革新等により成長が拡大、債務危機を抱える欧州経済も回復基調となり、長期低迷からの脱却の兆しが見られました。一方、新興国経済は、中国で減速傾向が続いたほか、その他の新興国でも中国向け輸出の減少や米国の量的緩和縮小観測による資金流出などにより、成長が鈍化しました。

こうした中、わが国経済は、金融・財政政策の効果や、家計や企業の景況感の回復により上昇基調を維持しましたが、輸出が伸び悩むなど、緩やかな回復に留まりました。

このような環境のもと、豊田通商グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は新規連結会社及び円安による為替の影響により、前年同四半期連結累計期間を9,973億円（21.2%）上回る5兆7,040億円となりました。

これを事業本部別に見ますと以下のとおりであります。なお、周辺環境の変化に対応するため、平成25年4月1日より一部の本部を改編し、また、生活産業・資材本部については名称を生活産業本部に変更しております。

金属本部は、鉄鋼分野では、海外自動車生産増加に 대응するため、事業会社の能力増強に取り組みました。非鉄金属分野では、引き続きレアアースの生産に向けて取り組みました。鉄鋼原料分野では、使用済み自動車のリサイクル率向上に努め、長年にわたる同取り組み等が評価され、トヨタ自動車株式会社とともに、内閣総理大臣賞を受賞しました。売上高については、円安による為替の影響により、前年同四半期連結累計期間を1,011億円（8.0%）上回る1兆3,605億円となりました。

グローバル生産部品・ロジスティクス本部では、インドネシア最大の自動車部品メーカーであるPT Astra Otoparts Tbk.に出資し、同国における自動車関連事業の拡大・強化のための協議を開始しました。また、中部国際空港株式会社、日本空港ビルデング株式会社などと共同で、独立行政法人国際協力機構のインフラ事業調査制度を活用し、インド・グジャラート州における新国際空港の建設・運営への参画のための事業化調査を開始しました。売上高については、円安による為替の影響により、前年同四半期連結累計期間を591億円（9.8%）上回る6,618億円となりました。

自動車本部では、ケニアでの日野自動車株式会社のトラック現地組み立てを開始するとともに、販売・サービス拠点を新設し、営業を開始しました。また、新興市場において良質なアフターサービスを提供するために、株式会社デンソー及びアイシン精機株式会社とともに、カンボジアでトータルカーサービス直営店PIT&GO Automotive Service (Cambodia) Co., Ltd.を設立しました。売上高については、新規連結会社の影響及び海外の自動車販売増加により、前年同四半期連結累計期間を3,895億円（66.6%）上回る9,740億円となりました。

機械・エネルギー・プラントプロジェクト本部では、国際貿易が拡大しているケニアにおいて、三井造船株式会社とともに、東アフリカ最大の貿易港であるケニア・モンバサ港の港湾クレーン案件を同国より受注しました。また、米国北東部の電力安定供給に貢献するため、Competitive Power Ventures Holdings, LLC及びArcLight Capital Partners, LLCとともに、米国・ニュージャージー州で天然ガス焼き火力発電所の建設・運営に参画しました。売上高については、石油製品等の取り扱い増加及び円安による為替の影響により、前年同四半期連結累計期間を1,540億円（16.4%）上回る1兆918億円となりました。

化学品・エレクトロニクス本部は、化学品分野では、マレーシア・トレンガヌ州で、ガラスや半導体の原料となるシリカサンドを採掘・精製する会社Terengganu Silica Consortium Sdn. Bhd.に出資することに合意しました。また、紙おむつ需要の拡大に対応するため、当社グループ会社である、SDPグローバル株式会社の中国現地法人三大雅精細化学品（南通）有限公司における高吸水性樹脂の生産能力を増強することを決定しました。売上高については、主に新規連結会社の影響により、前年同四半期連結累計期間を2,593億円（26.3%）上回る1兆2,466億円となりました。

食料本部は、穀物分野では、豪州の穀物集荷・輸出事業会社の機能を活用して、日本及び東南アジア諸国への豪州産穀物の販売拡大に取り組みました。食品分野では、国内外での食品流通事業拡大のため、国分株式会社と協力関係を構築すべく、業務提携契約を締結しました。売上高については、新規連結会社及び円安による為替の影響により、前年同四半期連結累計期間を308億円（14.7%）上回る2,408億円となりました。

生活産業本部は、リビング&ヘルスケア分野では、医療事業拡大のため、セコム医療システム株式会社及びインドのキルロスカ・グループと共同運営を行う総合病院を、インド・バンガロールで部分開業しました。保険分野では、豊通保険カスタマーセンター株式会社と豊通ファミリーライフ株式会社を統合し、国内トップクラスの保険代理店となる豊通保険パートナーズ株式会社として、国内事業の拡大・強化に取り組みました。売上高については、円安による為替の影響により、前年同四半期連結累計期間を39億円（3.2%）上回る1,261億円となりました。

利益につきましては、営業利益は売上総利益の増加等により1,194億77百万円となり、前年同四半期連結累計期間（811億13百万円）を383億64百万円（47.3%）上回りました。経常利益は1,238億11百万円となり、前年同四半期連結累計期間（943億23百万円）を294億88百万円（31.3%）上回りました。一方で、税引後の四半期純利益は、前年同期の段階取得に係る差益の影響等により前年同四半期連結累計期間（584億95百万円）を9億15百万円（1.6%）下回る575億80百万円となりました。

## （2）財政状態に関する説明

総資産につきましては、売上債権で1,176億円、投資有価証券で786億円、無形固定資産で497億円、有形固定資産で478億円の増加となり、前連結会計年度末に比べ3,702億円増加の3兆9,625億円となりました。また、純資産につきましては、四半期純利益等により利益剰余金で388億円、その他有価証券評価差額金で373億円、為替換算調整勘定で813億円の増加となり、前連結会計年度末に比べ1,784億円増加の1兆984億円となりました。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年10月31日発表の連結業績予想から変更しておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	391,409	377,397
受取手形及び売掛金	1,106,604	1,224,276
たな卸資産	593,155	631,498
その他	220,902	238,083
貸倒引当金	△17,920	△20,441
流動資産合計	2,294,151	2,450,815
固定資産		
有形固定資産	445,370	493,163
無形固定資産		
のれん	256,957	196,925
その他	107,771	217,487
無形固定資産合計	364,729	414,412
投資その他の資産		
投資有価証券	386,026	464,617
その他	119,131	155,372
貸倒引当金	△17,040	△15,864
投資その他の資産合計	488,117	604,125
固定資産合計	1,298,216	1,511,702
資産合計	3,592,368	3,962,517

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	876,595	870,081
短期借入金	420,602	517,158
未払法人税等	30,153	25,716
引当金	1,134	1,345
その他	436,587	451,475
流動負債合計	1,765,072	1,865,777
固定負債		
社債	65,000	95,000
長期借入金	727,244	740,674
引当金	28,302	30,351
その他	86,704	132,312
固定負債合計	907,251	998,338
負債合計	2,672,324	2,864,116
純資産の部		
株主資本		
資本金	64,936	64,936
資本剰余金	154,539	154,763
利益剰余金	531,049	569,887
自己株式	△5,345	△4,610
株主資本合計	745,179	784,976
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	44,637	81,924
繰延ヘッジ損益	△9,710	△7,436
為替換算調整勘定	△19,931	61,408
その他の包括利益累計額合計	14,996	135,896
新株予約権	951	402
少数株主持分	158,916	177,125
純資産合計	920,043	1,098,401
負債純資産合計	3,592,368	3,962,517

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	4,706,749	5,704,061
売上原価	4,414,849	5,274,431
売上総利益	291,899	429,630
販売費及び一般管理費	210,786	310,152
営業利益	81,113	119,477
営業外収益		
受取利息	2,664	3,106
受取配当金	10,639	13,442
持分法による投資利益	13,406	14,623
雑収入	8,809	8,961
営業外収益合計	35,519	40,135
営業外費用		
支払利息	13,457	18,683
為替差損	3,241	13,421
雑支出	5,609	3,696
営業外費用合計	22,308	35,801
経常利益	94,323	123,811
特別利益		
固定資産売却益	846	815
投資有価証券及び出資金売却益	5,784	1,808
債務保証損失引当金戻入額	133	—
事業撤退損失引当金戻入額	467	12
損害補償損失引当金戻入額	1,024	—
契約損失引当金戻入額	289	—
段階取得に係る差益	10,143	—
新株予約権戻入益	152	371
受取保険金	154	—
特別利益合計	18,995	3,007
特別損失		
固定資産処分損	680	533
減損損失	238	84
投資有価証券及び出資金売却損	187	87
投資有価証券及び出資金評価損	3,009	1,565
関係会社整理損	0	50
事業撤退損失引当金繰入額	1,800	709
訴訟損失引当金繰入額	—	210
契約変更に伴う精算金	4,908	—
その他	54	45
特別損失合計	10,879	3,285
税金等調整前四半期純利益	102,439	123,533
法人税等	32,045	46,429
少数株主損益調整前四半期純利益	70,394	77,104
少数株主利益	11,899	19,524
四半期純利益	58,495	57,580

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	70,394	77,104
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,986	36,311
繰延ヘッジ損益	△2,762	2,710
為替換算調整勘定	9,757	78,331
持分法適用会社に対する持分相当額	120	9,465
その他の包括利益合計	15,102	126,819
四半期包括利益	85,496	203,923
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	72,393	178,558
少数株主に係る四半期包括利益	13,103	25,364

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント								その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	金属	グローバル 生産部 品・ロジ スティク ス	自動車	機械・エ ネルギ ー・プラ ントプロ ジェクト	化学品・ エレクト ロニクス	食料	生活産業	計				
売上高												
外部顧客への売上高	1,259,400	602,789	584,509	937,851	987,383	210,006	122,247	4,704,189	2,559	4,706,749	—	4,706,749
セグメント間の内部売上高又は振替高	98	4,360	1	1,513	4,367	89	1,967	12,399	386	12,786	△12,786	—
計	1,259,498	607,150	584,511	939,365	991,751	210,096	124,215	4,716,589	2,946	4,719,535	△12,786	4,706,749
セグメント利益又は損失(△)	25,408	13,332	24,956	2,482	9,626	1,186	6,704	83,697	△2,584	81,113	0	81,113

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント								その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	金属	グローバル 生産部 品・ロジ スティク ス	自動車	機械・エ ネルギ ー・プラ ントプロ ジェクト	化学品・ エレクト ロニクス	食料	生活産業	計				
売上高												
外部顧客への売上高	1,360,563	661,863	974,025	1,091,801	1,246,697	240,851	126,162	5,701,964	2,096	5,704,061	—	5,704,061
セグメント間の内部売上高又は振替高	506	2,388	49	292	3,934	87	539	7,797	366	8,163	△8,163	—
計	1,361,069	664,252	974,074	1,092,094	1,250,631	240,938	126,701	5,709,762	2,462	5,712,224	△8,163	5,704,061
セグメント利益又は損失(△)	34,302	16,818	29,891	16,597	18,501	4,121	5,489	125,722	△6,323	119,399	78	119,477

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ全体の業務支援を行う職能部門を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額には、主にセグメント間取引額を表示しております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来の生活産業・資材の区分に属していた自動車内装用資材・部品等については、所属する区分をグローバル生産部品・ロジスティクスに変更しております。また、生活産業・資材の区分については名称を生活産業に変更しております。これに伴い、前第3四半期連結累計期間の報告セグメントを変更後の報告セグメントの区分方法により組み替えて表示しております。

2014年3月期第3四半期連結決算概要

2014年2月3日

豊田通商株式会社

(単位:億円)

(参考)

四半期推移	1Q	2Q	3Q
売上高	18,964	18,168	19,906
営業利益	409	360	424
経常利益	460	403	374
四半期純利益	217	200	157

連結経営成績	第3四半期 累計期間	前年同期	前年同期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	57,040	47,067	9,973	21.2%
売上総利益	4,296	2,918	1,378	47.2%
販売費及び一般管理費	3,101	2,107	994	—
営業利益	1,194	811	383	47.3%
利息収支	▲155	▲107	▲48	—
受取配当金	134	106	28	—
持分法による投資損益	146	134	12	—
その他	▲81	▲0	▲81	—
経常利益	1,238	943	295	31.3%
特別損益	▲2	81	▲83	—
税金等調整前 四半期純利益	1,235	1,024	211	20.6%
法人税等	464	320	144	—
少数株主利益	195	118	77	—
四半期純利益	575	584	▲9	▲1.6%

主な増減要因
<p><b>【売上高】+9,973億円</b> 新規連結子会社及び円安による為替影響により自動車本部を中心に増加</p> <p><b>【売上総利益】+1,378億円</b> 売上高の増加による</p> <p><b>【販売費及び一般管理費】+994億円</b> 新規連結子会社の影響等により増加</p> <p><b>【利息収支】▲48億円</b> 新規連結子会社の影響等により悪化</p> <p><b>【その他営業外損益】▲81億円</b> 主に為替差損益の悪化</p> <p><b>【特別損益】▲83億円</b> 前期段階取得に係る差益等の影響により悪化</p>

商品本部別 連結売上高・営業利益	第3四半期 累計期間	前年同期	前年同期比 増減額	為替 影響額	為替影響除く	
					増減額	増減率(%)
金 属	13,605	12,594	1,011	1,254	▲243	▲1.8%
グローバル生産部品・ ロジスティクス	343	254	89	39	50	17.2%
自動車	6,618	6,027	591	1,185	▲594	▲8.2%
機械・エネルギー・ プラントプロジェクト	168	133	35	26	9	5.9%
化学品・ エレクトロニクス	9,740	5,845	3,895	862	3,033	45.2%
食 料	298	249	49	42	7	2.4%
生活産業	10,918	9,378	1,540	624	916	9.1%
合 計	165	24	141	4	137	483.1%
	12,466	9,873	2,593	734	1,859	17.5%
	185	96	89	13	76	68.9%
	2,408	2,100	308	180	128	5.6%
	41	11	30	2	28	203.0%
	1,261	1,222	39	41	▲2	▲0.2%
	54	67	▲13	0	▲13	▲18.7%
	57,040	47,067	9,973	4,884	5,089	9.8%
	1,194	811	383	120	263	28.3%

※上段:売上高、下段:営業利益

主な増減要因
<p><b>【売上高】</b> 市況の下落により減収</p> <p><b>【営業利益】</b> 営業外為替差損との入繰りによる影響等</p> <p><b>【売上高】</b> 中国自動車生産台数の減少により減収</p> <p><b>【営業利益】</b> 営業外為替差損との入繰りによる影響</p> <p><b>【売上高・営業利益】</b> 新規連結子会社の影響及び海外自動車販売台数の増加により増収増益</p> <p><b>【売上高】</b> 石油製品等及び自動車関連設備の取扱い増加により増収</p> <p><b>【営業利益】</b> 風力発電子会社の利益増加により増益</p> <p><b>【売上高・営業利益】</b> 新規連結子会社の影響及びエレクトロニクス部品取扱い増加により増収増益</p> <p><b>【売上高・営業利益】</b> 新規連結子会社の影響により増収増益</p> <p><b>【売上高・営業利益】</b> 繊維関連取扱い減少により減収減益</p>

※2013年4月1日より一部の本部を改編し、また、生活産業・資材本部については名称を生活産業本部に変更しております。これに伴い、前年同期数値につきましては、変更後の事業区分により組み替えて記載しております。

連結財政状態	第3四半期末	前期末	前期末比	
			増減額	増減率(%)
総資産	39,625	35,923	3,702	10.3%
(流動資産)	24,508	22,941	1,567	6.8%
(投資有価証券・出資金)	5,187	4,289	898	20.9%
(その他の固定資産)	9,929	8,692	1,237	14.2%
純資産	10,984	9,200	1,784	19.4%
有利子負債(NET)	11,656	9,986	1,670	16.7%
D E R (NET)	1.3	1.3	▲0.0	—

主な増減要因
<p><b>【流動資産】+1,567億円</b> ・売上債権の増加 +1,176億円 ・たな卸資産の増加 +383億円</p> <p><b>【投資有価証券・出資金】+898億円</b> ・主に時価の上昇及び株式取得による増加</p> <p><b>【その他の固定資産】+1,237億円</b> ・有形固定資産の増加 +478億円 ・無形固定資産の増加 +497億円</p> <p><b>【純資産】+1,784億円</b> ・利益剰余金 +388億円 (四半期純利益 +575億円、配当金 ▲158億円等) ・有価証券評価差額金 +373億円 ・為替換算調整勘定 +813億円</p>

連結業績予想	当期予想 (13/10/31公表)	前期実績	前期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	76,000	63,043	12,957	20.6%
営業利益	1,580	1,158	422	36.4%
経常利益	1,690	1,248	442	35.4%
当期純利益	720	674	46	6.8%

主要指標推移		第3四半期 累計期間	前年同期 (前期末)
為替(円/米ドル)	平均	99	80
	期末	105	(94)
金利	円TIBOR3M平均	0.23%	0.33%
	米ドルLIBOR3M平均	0.26%	0.40%
ドバイ原油(米ドル/bbl)		104	107
豪州一般炭(米ドル/トン)		83	91
シゴコン(セント/Bushel)		534	711